



柳谷 菜月さん
(羽衣町第1)

■平成10年生まれ
小学校1年生から始めた民謡は、4年連続で全道大会に出場するほどの腕前。昨年は全道4位に輝いた柳谷さん。「民謡をやって良かったなと思うときは、大会や文化祭でお客さんにたくさんの拍手や声援をもらったときです。今年は大会でさらに上位を目指したいです」



森本 智也くん (向陽西)
■平成10年生まれ

野球少年団清里ジャガーズで昨年はピッチャーをつとめた森本くん。今年は副キャプテンにも選ばれシーズンオフの冬期間も仲間とともに練習に励んでいます。「今年は球速アップとコントロールを良くするために一生懸命練習したいです。そして、試合では三振をたくさん取りたいです」

年男・年女に聞く 新年の想い



浅野 武さん
(緑)

■昭和13年生まれ
緑地区のそば愛好家が集う「緑そば会」でそばづくりを楽しんでいる浅野さん。「毎年、地域の仲間と一緒にみどりのフェスティバルや弟子屈町でのそば祭りに出店するのが楽しみです。趣味で始めたそばづくりですが、今年も健康づくりのためにも楽しみながら取り組んでいきたいですね」



篠田 真弓さん (羽衣町第3)
■昭和49年生まれ

㈲「苺の丘こうも」で苺の生産や出荷、苺を使ったスイーツを販売するショップも手掛ける篠田さん。「2002年に苺と出会い、生産者として歩みはじめました。『ここでしか食べられないもの』『生産者だからできる商品』を目指して、今年もこつこつと地道に取り組んでいきたいですね」



阿部 守さん
(羽衣町南)

■昭和25年生まれ
子ども会育成連絡協議会の会長をつとめ今年で6年目を迎える阿部さん。
「私は日頃から挨拶は必ずするようにと言っているんですが、中学高校に上がっても『こんにちは』と挨拶をしてくれます。子どもたちには、この気持ちを忘れずにいてほしいなと願います」



石井靖洋さん(羽衣町南)
■昭和61年生まれ

高校時代は野球の名門鷗川高校で投手として活躍。高校卒業後は農業の担い手として農作業に汗を流す毎日過ごす石井さん。
「自分には農業があっているんだと高校時代から思っていました。まだ、農業の後継者としては未熟ですが、早く一人前の農業者になれるよう頑張りたいです」

新春企画

今年の干支は「寅」。今月号では、町内に住む8人の年男・年女の皆さんに、新年の目標や今年にける想いを語ってもらいました。
あなたの新年にける想いは何ですか。



居城佐吉さん
(札弦町第1)

■大正15年生まれ
ことぶき大学で詩吟の指導を行い、詩吟愛好家の集う「吟詠会」では長年にわたり会長をされている居城さん。
「もっと若い方にも詩吟の良さを知ってもらいたいと思っています。今年で84歳になりますが、今年も元気に指導していきたいですね。詩吟はお腹から声を出すので健康にもいいですよ」

中 美智子さん(水元町第2)
■昭和37年生まれ

社会福祉協議会のボランティアコーディネーターとして活躍する中さん。
「毎週行っているミニサロンでは、施設入所者などへ贈る誕生カードや押し花カレンダーづくりなどを地域の皆さんと一緒にしています。皆さんの趣味を活かした楽しいボランティア活動となるように今年もがんばりたいですね」

